

エ コース別学習課題

前述した「形成的評価問題」としての英問英答の結果を自己評価させ、生徒一人一人が、自分に最も適したコースを選択できるように配慮した。教師は、あらかじめ、生徒の学力差などに応じられるように、予習的課題や形成的評価問題・補説問題と同様、難易度をふまえたA, B, C三つのコース別学習課題を準備しておき、それを一斉授業の中での、分枝型学習形態のもとで行わせたわけである。

次に、各コース別学習課題の内容を述べる。

- Aコースは、Q and A を用いずに、T or F テストによって内容把握の状況を確認させようとしたものである。
- Bコースは、Q and A を中心に、絵で場面を設定し、自由に表現させようとしたものである。
- Cコースは、かなり高度なQ and A をはじめとして、英文で場面を設定した例文を示し、一つのまとまった内容を数箇の文で、自由に表現させようとしたものである。

また、いずれのコースにもこのセクションの目標文 (Target sentence) は含まれるように配慮している。どの生徒にもBコースまでは到達させたいという意図で作成した課題である。

更に、この段階では、「聞くこと、話すこと」の言語活動には変りないが、生徒の実態によっては「書くこと」の言語活動にまで発展させることも必要であると思う。

以下、その例をコース別に示す。

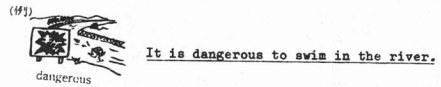
Aコース

T or F テストです。

1. African people are great slaves. ()
2. They were taken to America as musicians. ()
3. They took their songs and dances with them. ()
4. They didn't know how to play the piano. ()
5. It is a lot of fun to play jazz or listen to it. ()

Bコース

- 1) Q and A 1~5は省略。
- 2) 例にならって、下の絵を用いて、英文を書いてみましょう。



It is dangerous to swim in the river.



It is difficult to study English.



It is fun to play ski.

Cコース

- 1) Q and A 1~2は省略。
- 2) It ... to ~の文を、自由に書いてみよう。

(例)
I like swimming. In summer I swim every day.
But it is dangerous to swim in the river.

1. I don't like to study. Because it is difficult to study.
But I study every day.
2. I like to listen to the radio.
Because it is fun to listen to the radio on Sunday.

オ 自己評価票

形成的評価問題のでき具合、コース別学習課題の実施経過、反省、教師の指導等から成る。

「自己評価票」 Class 2 No. 20 Name B子

評価問題	1	2	3	4	5	6
	◎	○	◎	◎	◎	◎
コース別学習課題	A		B		C	
自己評価	1	2	3	4	5	
反省	Cコースの1の答え方が、おかしかった。 でも、先生に教えてもらったので、おかしかった。					
先生より	Cコースの(1), (2)は、canと同じ意味の be able to とは、疑問文にあるときは、疑問に「何故か簡単に理解できなかった。Where ~? の間、は、あんなに、つりあが同じ目に、入ります。落着いて、よく、と、違い、は、おもしろくて、どの間、も、おもしろい、と、思っています。					